

「アートとしての数学」作品提出について (2026年6月15日版)

授業であつかった次のテーマのいずれかを生かして、技法、表現、用途などの工夫が、形に現れた作品を作り、提出してください。アート作品というつもりでなくてもよく、実用品、おもちゃ、パズル、しかけ、などを、自由に目指し可能性を試みてください。

【テーマ】

- (1) (挑戦的テーマ) 絵や模様をついた紙の上にガラスビーズを乗せて、光を当てて虹が現れるようにする。
- (2) 見る方向で形が変わって見える工作。

- 蛇腹折り。見る方向を変えると、別々の2つの絵や形が現れる。
- 折れ線が何本かある紙に、顔や体や形などを描き、見る方向を変えてゆくと、表情が変わっていく。
- 3方向を向いた面が集まった紙を使う。授業では実習しなかった。興味のある人はどうぞ。

[https://haniu.a.la9.jp/kagee/3directions\(1\).pdf](https://haniu.a.la9.jp/kagee/3directions(1).pdf)

[https://haniu.a.la9.jp/kagee/3directions\(2\).pdf](https://haniu.a.la9.jp/kagee/3directions(2).pdf)

- (3) 相似な図形を並べて作る工作
- (4) ランダムな点を打ったシートを重ねて、図形が現れる工作。
(3)(4) ともに対数螺旋が現れるが、特別な場合として円が現れる。

【提出期限】 2026年7月13日(月)。

7月20日(月)の授業で提出作品についてコメントする。提出作品は、8月後半からしばらく、ミーティングルーム前に置いておくので、返却希望の人は自作を持っていくこと。

【制作上の注意】

- 自分で作った作品といえるものを作ること。
- どんなテーマの作品でも、文章による説明がある方が良い場合は、説明文をつけること。
- 講師に相談したいことがあればいつでもどうぞ。